

2月3日：今週のベトナム株は横ばいか

ベトナム株はテト休暇明けに下落しているが、出来高を伴った下落となっており投資家の利益確定の動きを表している。しかしながら、専門家は今後の見通しには楽観的なスタンスである。

ホーチミン取引所のVN指数は1,077.15ポイントで取引を終えた。ハノイ取引所のHNX指数は215.28ポイントで取引を終えた。

週間ではそれぞれの指数は3.6%、2.5%下落した。

両市場の出来高は前週比で増加、売買代金はホーチミン市場では23.1%増、出来高は25.1%増となっていた。

ハノイ取引所でも売買代金は38.6%増、出来高は40%増となっていた。

多くのセクターが下落していた。金融セクターが最も下落し、下落幅は4.8%となった。不動産、ITがそれに続く下落だった。

外国人投資家は買い越しを続けている。両市場合わせて1.8兆ドンを買い越した。ホアファットグループ（HPG）は3,970万株が買い越された。

その他、ETFのFUEVFVND、サコムバンク（STB）も1,300万株、1,290万株を買い越しされた。

サイゴンハノイ証券のアナリストは、VN指数は先週40ポイント下落し1,077.15ポイントで取引を終えた。年初来で4週連続上昇していたが、下落に転じたとコメントしている。

相場は下落トレンドから抜け出し回復の時期に入っていると同社は考えており、すぐには上昇トレンドには戻らなかった。再び上昇トレンドに入る前に根固めをする必要があると同社は語った。

短期的には、先週の下落は想定内であり、調整は今後も必要だが反発しないということではない。調整を終えれば、VN指数は1,150ポイントを目指さだろうと同社は予想した。

相場は下落後の根固めの状態にあり、徐々に値動きが少なくなっていくだろう。下落時には中長期の投資機会が現れるだろう。特に、直近の下げの影響が少なく、反発が早くかつ最高値を目指すような銘柄に注目すべきだと同社は語った。

VCBC は短期的な下落リスクは一時的なものであるとコメントしている。

ベトナム株は横ばいが続き、銘柄によってまちまちの動きとなるだろう。ベトナム株は20日移動平均を下値めどに反発すると予想している。

投資家は銀行セクターに10-15%のポートフォリオを投資することを勧める、同セクターは反発時に相場を牽引するだろうと同社は語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。